

プレスリリース [2018年4月11日]

(計1枚)

市内でハイイロゴケグモが発見されました

4月10日に特定外来生物に指定されているハイイロゴケグモが市内で発見されました。ハイイロゴケグモに攻撃性はありませんが、毒を持っており、触れると咬まれることがあります。

■発見日：4月10日（火）

■発見場所：金森6丁目

■事案の経過

- ・ 4月9日、市民からハイイロゴケグモらしきクモを発見したとの連絡がありました。
- ・ 4月10日、発見場所付近を調査し、個体を捕獲しました。東京都を通じて同定を依頼したところ、午後5時にハイイロゴケグモであることがわかりました。
- ・ 今後、周辺地域へ注意喚起を行う予定です。

<参考>

- ・ ハイイロゴケグモは腹面に赤い斑紋があることが特徴で、背面は真黒のもの、茶色や灰色を基調とし、斑紋を有するものなどがあります。日当たりの良い暖かい場所で、地面や人工物のくぼみや穴、裏側、隙間に営巣します。
- ・ 咬まれたときの症状は、痛み、熱感、かゆみ、赤身、硬くなる、リンパ節の腫れが生じます。ほとんどが軽傷で、通常は数時間から数日で症状は軽減しますが、まれに脱力、頭痛、筋肉痛、不眠などの全身症状が数週間継続することがあります。
- ・ ハイイロゴケグモを見つけても、素手で捕まえたり、さわらないようにしてください。咬まれたときは、水で洗い、患部を清潔にしてすみやかに医療機関にご相談ください。その際、咬んだクモの種類がわかるように、殺したクモをできれば持参してください。
- ・ 駆除するには、家庭用殺虫剤（ピレスロイド系）を用いるほか、熱湯をかける、靴で踏みつぶすなどの物理的な方法があります。

■ 本件に関するお問い合わせ先

ハイイロゴケグモの生態について 環境資源部環境・自然共生課 課長 大久保 042-724-4391
対処方法について 保健所生活衛生課 課長 田中 042-722-0621